

令和6年度

島根大学大学院医学系研究科
看護学専攻（博士前期課程）入学者選抜

試験問題

専門領域問題（助産学コース）

（60分間）

注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は表紙を含めて3枚です。
- 3 志望するコースの問題について解答してください。
- 4 問題紙は持ち帰ってください。

助産学コース

I. 以下の文章を読み、問1～問7に答えなさい。(60点)

Aさん33歳の初産婦。既往歴はない。妊娠経過は順調。妊娠40週6日、2時30分頃、トイレに起きた時、羊水が多量に流れた。病院に連絡し3時30分に破水で入院となった。同日の14時頃から15～10分間隔で20～30秒程度、腹部が痛くなってきた。15時30分頃から腹部の痛みが9～8分間隔で20～30秒になってきた。次の日の2時15分の内診所見は、子宮口9cm開大、展退度90%、Station+1、子宮頸管の硬度は軟、子宮口の位置は前方、大泉門を6時方向に触れた。30分後に子宮口全開大し、3時55分に経膣分娩により3,000gの男児を出産した。8分後に胎盤は自然に娩出され、子宮収縮は良好であった。Aさんの体温37.0℃、血圧126/78mmHg、脈拍82/分、出血量410gであった。

児のアプガー(Apgar)スコアは1分後9点(皮膚色-1)、5分後10点、臍帯動脈血pH7.28、体温36.6℃、呼吸数60/分、心拍数150/分であり、出生直後から元気な啼泣あった。Aさんから、早期母子接触(STS)をしたいとの希望があった。

問1. Aさんの破水の状態を示す適切な組み合わせを、以下の1)～6)の中から選びなさい。(10点)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1) 高位破水、適時破水 | 2) 低位破水、適時破水 |
| 3) 高位破水、前期破水 | 4) 低位破水、前期破水 |
| 5) 高位破水、早期破水 | 6) 低位破水、早期破水 |

問2. 低位破水と高位破水について説明しなさい。また、妊婦が自宅で破水した時の対応と注意点について説明しなさい。(10点)

問3. この事例の分娩第Ⅱ期の時間を計算方法とともに答えなさい。(10点)

問4. 新生児蘇生法のアルゴリズム2020に基づいて出生直後の新生児のチェックポイントとケアについて説明しなさい。(10点)

問5. Aさんと新生児についてアセスメントを行い、早期母子接触(STS)の実施の可否について記述しなさい。(20点)

II. 女性の更年期と男性の更年期の相違に着目し、それぞれの更年期について説明しなさい。(20点)

III. 包括的性教育について説明し、あなたが考える助産師の包括的性教育の役割について記述しなさい。(20点)